

## ITUAJより

### 編集後記

SDGs (持続可能な開発目標: Sustainable Development Goals) とは、2001年に策定されたミレニアム開発目標 (MDGs) の後継として、2015年9月の国連サミットで加盟国の全会一致で採択された「持続可能な開発のための2030アジェンダ」に記載された、2030年までに持続可能でよりよい世界を目指す国際目標です。17のゴール・169のターゲットから構成され、地球上の「誰一人取り残さない (leave no one behind)」ことを誓っています。

ITU主催、国連関係機関共催のAI for Good Global Summit は、日本ではあまり知られていませんが、2017年から続いて、AIの国際的なイベントです。ITUや国連が、近年急速な進歩を続けるAIが社会的課題を解決し、SDGsの進展を加速させる大きな可能性を持つ、と捉えている背景から、年1回開催されています。2020年は、AIに焦点を当てた有望なスタートアップ企業が紹介され、本号特集では、ヘルスケア・先進的AIソリューション・環境&アグリテック・チャットボット&ロボットの分野に分類し紹介しています。ぜひご精読下さい。

## ITUジャーナル読者アンケート

アンケートはこちら [https://www.ituaj.jp/?page\\_id=793](https://www.ituaj.jp/?page_id=793)

## 編集委員

- |     |       |                  |
|-----|-------|------------------|
| 委員長 | 亀山 渉  | 早稲田大学            |
| 委員  | 山口 典史 | 総務省 国際戦略局        |
| 〃   | 天野 佑基 | 総務省 国際戦略局        |
| 〃   | 伊藤 未帆 | 総務省 国際戦略局        |
| 〃   | 棚田 祐司 | 総務省 総合通信基盤局      |
| 〃   | 中川 拓哉 | 国立研究開発法人情報通信研究機構 |
| 〃   | 荒木 則幸 | 日本電信電話株式会社       |
| 〃   | 中山 智美 | KDDI株式会社         |
| 〃   | 福本 史郎 | ソフトバンク株式会社       |
| 〃   | 熊丸 和宏 | 日本放送協会           |
| 〃   | 山口 淳郎 | 一般社団法人日本民間放送連盟   |
| 〃   | 安原 正晴 | 通信電線線材協会         |
| 〃   | 中兼 晴香 | パナソニック株式会社       |
| 〃   | 牧野 真也 | 三菱電機株式会社         |
| 〃   | 東 充宏  | 富士通株式会社          |
| 〃   | 飯村 優子 | ソニーグループ株式会社      |
| 〃   | 江川 尚志 | 日本電気株式会社         |
| 〃   | 中平 佳裕 | 沖電気工業株式会社        |
| 〃   | 小川 健一 | 株式会社日立製作所        |
| 〃   | 金子 麻衣 | 一般社団法人情報通信技術委員会  |
| 〃   | 島田 淳一 | 一般社団法人電波産業会      |
| 顧問  | 齊藤 忠夫 | 一般社団法人ICT-ISAC   |
| 〃   | 橋本 明  | 株式会社NTTドコモ       |
| 〃   | 田中 良明 | 早稲田大学            |

## 編集委員より

### 雪国に住むということ



一般社団法人 電波産業会

しまだ じゅんいち  
島田 淳一

巻末言の執筆依頼が舞い降りた。依頼メールには「記事の内容は自由です」とあり、最近の巻末言を読み返してみると「ボクにはこんなに真面目には書けない、」という力作ばかり。こういう場面で「真面目な」ことが難しく「敢えて少し外す」性分の当方にとっては「自分のスタイルを貫くしかない」と感じつつ「コロナ禍」の話をしても仕方がないので、ちょっと個人的な話を。

現在、金沢に自宅があり、単身赴任となり東京で活動していますが、年末年始の大雪では久しぶりに大変な思いを。とにかく1日の積雪量が多く、ベランダも1日で雪が積もって窓が開けられず、雪捨て場が近くないので、ひとまず玄関前の空きスペースに雪山として積んどくしかかない状況。結局、年末年始は毎日雪かきに追われてしまうのでした。

こういう雪国に住んでいると、太平洋側の方々との感覚の違いが如実に。雪かきが終わって、一段落してテレビをつけると流れてくる関東キー局からのテレビ番組もそうですが、「東京」で「晴天」が前提になっているようで。これに限らず「そういう考え方で大丈夫？」と自宅前の坂道でスリップして動けなくなった自動車を後ろから押しながらかけてしまいます。その一方で、社会全体の「巣ごもり生活」への対応が進んでいるせいか、雪国での巣ごもり生活も少々改善。

さてと、日本は南北に長く、気候条件も様々で、文化、そして人間そのものにも様々な違いがあるので、多様な視点で考え、語る事が重要であると考えていますが、こういう雪国に住んでいる住民も多いこと、頭の片隅にでも入れていただければと。



雪に埋もれたベランダと雪山に埋もれた自宅

## ITUジャーナル

Vol.51 No.4 2021年4月1日発行/毎月1回1日発行

発行人 山川 鉄郎

一般財団法人日本ITU協会

〒160-0022 東京都新宿区新宿1-17-11

BN御苑ビル5階

TEL.03-5357-7610(代) FAX.03-3356-8170

編集人 岸本淳一、大野かおり、石田直子

編集協力 株式会社クリエイト・クルーズ

©著作権所有 一般財団法人日本ITU協会